

〈新フェローの紹介〉

小野 勝次氏 略歴

1909年4月 東京に生まれる。
 1933年 東大理学部数学科卒業，大学院において高木貞治教授のもとで数学基礎論を，桑木巖翼教授のもとで数理哲学を研究。
 1939年 「数学の基礎の論理学的研究（独文）」によって東大より理学博士を授与。
 1954年 「電気計算統計器の研究」によって学士院賞を授与。
 1933—42年 武蔵高等学校講師，教授。
 1942—43年 名古屋帝大助教授。
 1943年一同教授，学制改革により名古屋大学教授，66年一同大学学生部長併任。
 現在，日本数学会理事，評議員。数学基礎論学会理事，評議員。
 日本オペレーションズ・リサーチ学会
 1964—65年 副会長，現在中部支部長。
 （研究分野は数学基礎論，論理学を中心としており，現在は論理学の研究に没頭している。ある時代には計算機，人口問題についても研究した。スポーツ科学の研究者とよばれたこともある。）



水谷 一雄氏 略歴

明治30年10月12日 愛知県渥美郡高豊村字七根に生まる。
 大正15年3月 東京商科大学卒業。
 大正15年3月 神戸高等商業学校講師。
 昭和4年4月 神戸商業大学附属商業専門部教授。
 昭和6年11月～ 日本統計学会理事及び評議員。
 昭和7年3月 神戸商業大学助教授。
 昭和7年5月 統計及び生命保険研究のためイギリス
 ～9年10月 オーストリー，イタリア，アメリカ合衆国に留学。
 昭和14年7月 神戸商業大学教授。
 昭和17年3月 神戸商業大学予科講師嘱託。
 昭和19年10月 神戸経済大学教授。
 昭和21年9月 神戸経済大学附属経営学専門部講師嘱託。
 昭和25年9月 学術奨励審議会専門委員嘱託。
 昭和25年10月～ 日本計量経済学会理事。
 昭和28年4月 神戸大学教授（経済学部），神戸大学神戸経済大学教授に併任。
 昭和28年4月 神戸大学大学院経済学研究科5年課程を担当。
 昭和28年12月 計量経済学会議に出席のためアメリカ合衆国へ出張。
 昭和30年6月 神戸大学評議員（昭和32年5月まで）。
 昭和30年7月 経済学博士（学位論文「数学的思惟と経済理論」）。
 昭和31年4月 The Econometric Society の Fellow に推薦せらる（日本人として最初）。
 昭和32年6月 日本OR学会理事・評議員・副会長（1964—65年度）・関西支部長など歴任。
 昭和36年3月 神戸大学退官。
 昭和36年4月 神戸大学名誉教授。
 昭和36年4月～昭和37年3月 桃山学院大学教授。
 昭和37年4月～昭和37年10月 甲南大学理学部教授（経営理学科）。
 昭和37年10月～現在 南山大学経済学部教授。
 昭和39年7月 日本統計学会名誉会員。
 昭和39年9月～昭和40年2月 米国 Rochester 大学経済学部客員教授。
 昭和40年4月 米国 Princeton 大学にての第4回国際ゲーム理論学会にて研究発表。
 昭和42年6月 南山大学電子計算機室委員長。

